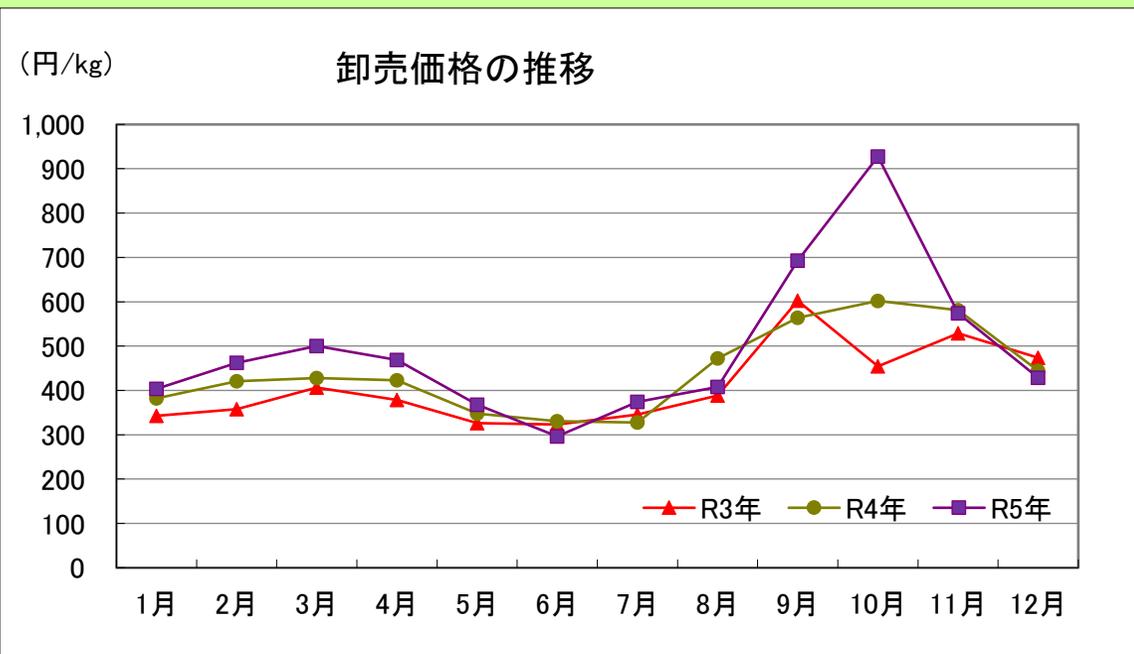
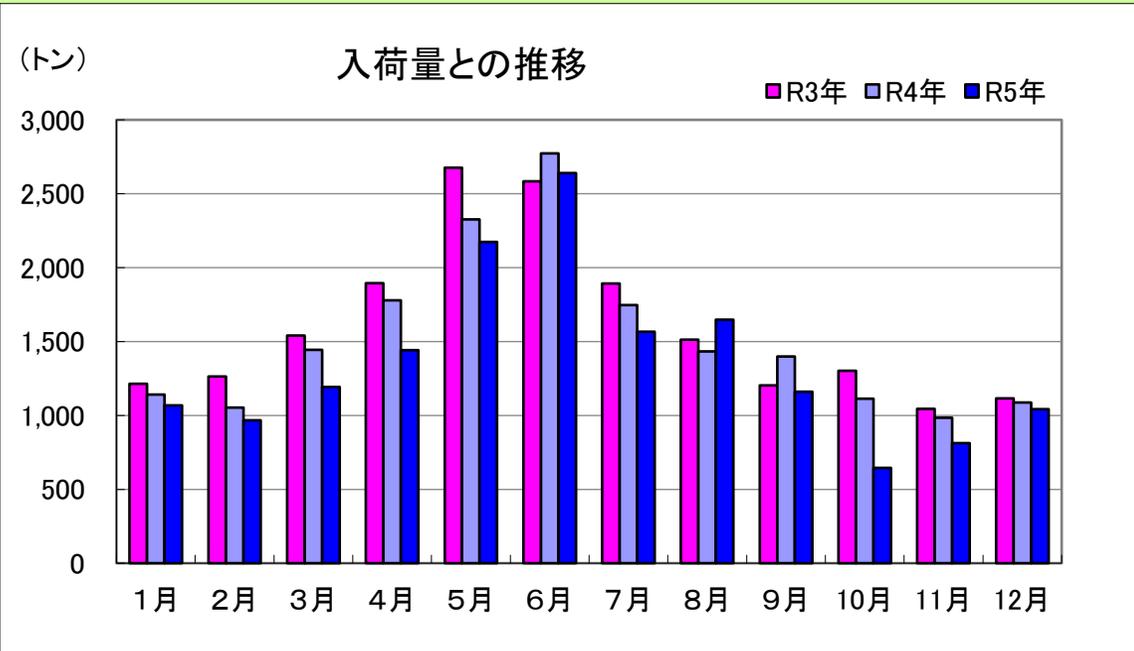


# トマトの動向

〇年により差があるものの、入荷量は5月から6月にかけて多くなり、卸売価格が低下する傾向が見られる。



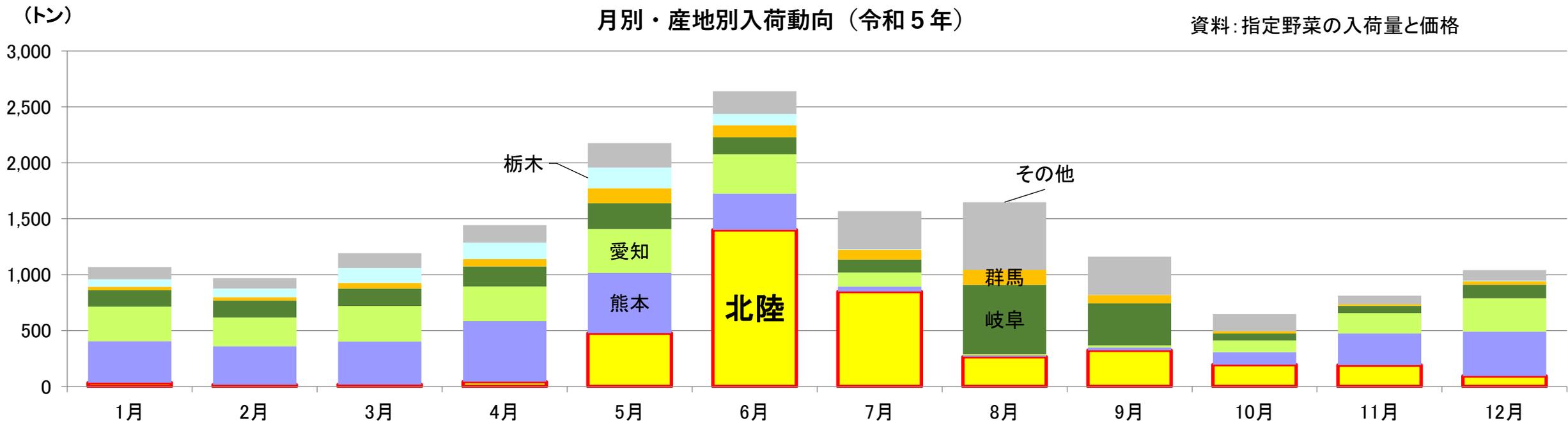
全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
216千トン	6.2千トン	24%	76%

注：トマトにはミニトマトも含む

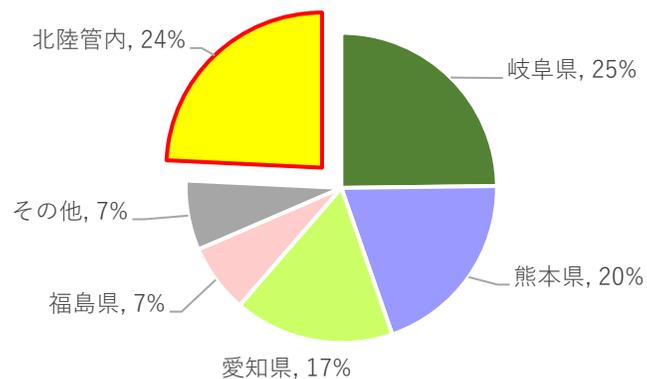
資料：指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

○入荷量は、岐阜、熊本、愛知の3県で約6割を占め、北陸地域からのトマトの供給比率は24%となっている。

○石川、新潟の2県は、北陸地域に出荷する割合が高く、福井では近畿地域への出荷が多くなっている。



産地別取扱割合



(参考) 主要消費地域への出荷量

資料: 令和5年青果物卸売市場調査報告

